



黒部市立明峰中学校
2学年だより 最終号
令和7年3月24日(月)発行

～2年生が終わり、最後の1年間へ…。最高の1年間へ…。～

3月13日(木)に卒業証書授与式が無事終わり、3年生が巣立っていきました。10日間程でしたが、3年生がいない寂しさと、自分たちが最高学年であることを実感したことでしょう。ここで、卒業生の代表である水野一真さんの答辞の一部と在校生の代表である橋本悠太郎さんの送辞の一部を紹介します。

答辞(一部抜粋)

1、2年生の皆さん。私たちは皆さんにとってどんな存在だったでしょうか。学校生活では共に盛り上がり、部活動ではよき仲間、ライバルとして活動してきました。私は、皆さんと一緒に活動できて、本当に楽しかったです。今までありがとうございました。これからの明峰中学校を担うのは皆さんです。仲間と協力して新しい明峰中学校を創り上げてください。皆さんの活躍を応援しています。

最後に、この三年間を一緒に過ごしたみんな。今日まで本当にありがとう。行事も、日々の生活も、みんなと一緒にだったから笑いの絶えない最高の思い出にすることができました。みんなは私に前へ進む勇気をくれました。今日から私たちは、これまでの生活に別れを告げ、自ら選択した道を歩んでいきます。時には不安になったり悩んだりすることもあるかもしれませんが。そんな時は、明峰中学校での宝物のような日々を思い出してください。別れは寂しいですが、今日の別れは私たちを素晴らしい未来へ連れて行ってくれます。だから振り返らずに、この学び舎を巣立って行きましょう。唯一無二の三年間をありがとう。

送辞(一部抜粋)

年齢が一つ違うだけなのに、私たちよりずっと大人で、時には厳しくも充実した中学校生活を送っておられた先輩方。そんな先輩方から、「正解は一つではない」ということを学び、まずはとにかく動き出してみることに、そして諦めないことの大切さを教わりました。先輩方もこれまで数々の悩みを抱えてこられたと思います。しかし、様々な困難にも前向きに一生懸命に取り組んでいる姿は、本当に格好良かったです。私たちはそんな先輩方が大好きです。これまで私たちが成長できたのは、先輩方の支えがあればこそと、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは先輩方が残してくださった伝統や目に見えない「心」の部分もしっかり受け継いでいこうと思います。まだまだ頼りない私たちですが、一年後には先輩方のように笑顔で卒業できるよう、何事も真剣に、努力していきます。

～卒業生への感謝を込めて 3年生を送る会より～

2年生が主体となって行った初めての学校行事でした。企画・脚本から生徒たちが立ち上げ、リーダーを中心に劇を完成させ、3年生にも喜んでもらった素晴らしい贈り物となりました。



～保護者の皆様へ 家庭学習を習慣化するためにできるサポート～

3年生に向けて、本格的に受験勉強を開始していきたいと思っているものの、家庭で勉強しないお子さんに悩んでいませんか。思春期を迎えた中学生は、親の言葉に素直に耳を傾けられず、時には親子の対立が生じることもあるかもしれません。また、大人からしたら「中学生なんだから、自分のことは自分でしなさい。」と思われる方もいらっしゃるでしょう。中学生に家庭学習の習慣を身に付けさせるためには、保護者の皆様のサポートが不可欠です。今回、いくつかのサポート方法をご紹介します。

サポート①:学習環境を整える

(1) 誘惑物(スマートフォン、タブレット、漫画、ゲーム等)を勉強する場所から遠ざける。

勉強中は誘惑物を保護者が一時的に預かるなどして、勉強に集中できる環境をつくりましょう。スマートフォンやタブレットを上手に勉強に活用できる場合は、その限りではありませんが、勉強中に勉強以外のことに使ってしまう場合は、思い切って遠ざけましょう。家族全体でスマートフォンやゲームの使用時間に関するルールを決めることも検討してみてください。親が積極的に管理することで、お子さんが学習に専念できる時間を確保しましょう。

(2) リビングで勉強する場合は、テレビを消すなど、家族全体で協力して静かな環境を作る。

サポート②:学習スケジュールを一緒に立てる

(1) ベースとなる1日のスケジュール(平日・休日版)を一緒に考える。

起床時間や就寝時間、学習時間をきちんと設定することで、お子さんは自分の生活リズムを整えることができ、家庭学習が習慣化しやすくなります。(2)と併せて考えると、より効果的です。

(2) 1週間のスケジュールも一緒に考える。

部活動や習い事、友達との遊び等、週全体の予定を把握し、学習時間をうまく組み込んでみましょう。ただし、スケジュールは融通が利くよう多少のゆとりを持たせることが大切です。学習時間と休憩時間をしっかり区別して、お子さんが好きなことを楽しめる時間も設けましょう。

サポート③:結果よりも努力した過程を誉める

一生懸命勉強に取り組んだにもかかわらず、思ったような結果が出ないこともあります。しかし、そのようなときこそ、結果だけに目を向けるのではなく、お子さんが真剣に取り組んで努力した過程を認めることが大切です。また、保護者からの誉め言葉は、お子さんにとって大きな励みとなり、自信をつけることにつながります。また、結果だけでなく、過程を評価することは、お子さんに失敗を受け入れ、新しいことにチャレンジする勇気を与えます。日々の親子のコミュニケーションを通じて、お子さんの成長を支え、一緒に前進していきましょう。

～2年生を振り返って(生徒の振り返りプリントより)～

1 私は、今年度、を一番頑張りました。

第1位	勉強(授業、家庭学習、提出物や課題も含む)	68票
第2位	部活動・クラブ活動	67票
第3位	学校行事	38票

その他の意見

- ・協力すること
- ・頑張ることが1つに偏り過ぎないこと
- ・全力ですること
- ・真剣に楽しむこと
- ・目標を達成するための努力
- ・体調管理
- ・人に優しくすること
- ・睡眠の質を上げること
- ・清掃
- ・自立すること
- ・学校を休まずに登校すること
- など

2 生徒作文より(一部抜粋)

「体調管理」この1年間で何度も繰り返した言葉です。14歳の挑戦前、合唱コンクール前、選挙前、テスト前等、いつも大事なときに体調を崩しました。私はあまり風邪を引きませんでしたし、保健室にほぼ行ったことすらなかったのですが、2年生になり、課題やらなければならないことが増えて、睡眠時間がどんどん短くなり、体調を崩すことが増えました。でも、もう大事なときに風邪を引きたくないです。家に帰ったら手洗い・うがいを欠かさずして、外出時はマスクをしたり、昼間のうちに課題を終わらせたりして、自分なりに対策をしたいです。中学校最後の年は毎日元気に楽しく過ごし、お腹一杯になるくらいの思い出をつくりたいです。(1組女子)

今年度は、努力することを頑張りました。目標や計画を立て、それを実行することは簡単だと思っていましたが、いざやってみるとそうはいきませんでした。特に、始めの頃は、自分のやりたいことを優先させてしまい、本当にやるべきことまで手を付けられないことが多くありました。けれども、学校で過ごしていくうちに、努力することの大切さを知り、まずはやってみることから始めました。その結果、今では何に対しても目標を立て、努力することが当たり前になりました。この1年間で大きく変わることができた部分の1つだと感じています。(2組男子)

とても充実していた1年間だったと感じます。1年生の時よりも友達が増え、自分が笑顔になる時間が増えました。合唱コンクールでは、賞はとれませんでした。私を含め、全員が全力を出したコンクールでした。悔しくて泣いている人もいて、本当によいクラスだと実感できた行事でした。行事を通じてクラスの仲がよくなっていくにつれ、最初は不安だったこのクラスが、大好きになりました。私は、心の底から2-3でよかったと感じます。(3組女子)

部活動で、アウトドアの全国大会や北信越大会等の大きな大会に出場することができました。先輩の背中を追いかけ、仲間と一緒に頑張ったり、交流を深めたりすることができたと思います。卒業式の日、先輩に「頑張ってたね。」と言ってもらえて、本当に嬉しかったです。来年度は最高学年になり、周りを支える存在になるので、これからも部活動や学校生活を楽しみながら頑張りたいと思います。(4組女子)

私は、姉妹都市交流事業研修生として、メーコンへ行ったことが強く印象に残っています。私は英語が好きで、この貴重な機会に異国での交流を通して英語の力を伸ばしたいと思い、参加しました。私の英語はネイティブには程遠く、心が折れそうになるときもありました。だから、伝わったときの達成感が大きく、嬉しかったです。この経験を通して、文化の違い、コミュニケーションの大切さ、自分の未熟さを学びました。もっと将来の夢に近付けるように、この経験を最大限に生かして、時間の使い方を考えながら、日々努力していきたいです。(5組女子)

～次年度の集金について～

1 教材費 不足額の集金について

3月6日に生徒を通じて配付したプリントと同様の内容です。今年度の学校集金については調整額案内をお配りし、2月分集金を口座振替させていただいたところですが、決算額に一部計上していないものがあり、教材費の金額が不足することがわかりました。しかし、今年度の振替は既に終了しており、支払い時期までに現金で集金するのも難しいのが現状です。つきましては、下記のとおりお預かりしている修学旅行積立から不足分を繰り入れて支払い、その分を来年度の5月分集金に上乗せして集金し戻し入れることで対応させていただくので、ご了承くださいますようお願いいたします。不足金額は2,350円で、修学旅行の支払い等に影響はありません。確認不足によりご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2 修学旅行 大阪・関西万博 プリペイドカード導入について

大阪・関西万博の会場内では、原則現金が利用できず、全面キャッシュレス決済の方針です。そのため、使い切りのプリペイドカードで対応することとしました。お小遣いとして、会場内で必要な飲食やお土産購入に際にご利用ください。

導入予定プリペイドカードイメージ図



見た目はクレジットカードですが、プリペイドカードなので、個人情報の登録や銀行口座との紐づけは不要なため安心です!!



使い方はカンタン!!
カード決済端末に
スライドさせて
磁気テープを
読み取らせるだけです。



イメージ図

※注意事項

- ① 個別対応不可のため、全員一律に最低チャージ金額の3,000円をチャージします。
この金額は、次年度に学校集金として集金します。修学旅行時のお小遣いとなりますので、当日のお小遣いは3,000円を引いた額を生徒に持たせてください。
- ② カード発行手数料が1枚につき200円(税込)発生します。修学旅行積立金より支出します。
- ③ 万博会場内で使い切ることができなくても、修学旅行中や帰着後、VISAマークのあるお店(コンビニ、スーパー、飲食店など)でも利用できます。(有効期限は2025年12月末まで)

～4月の主な予定～

7日(月) 着任式・始業式・給食開始	19日(土) 授業参観、学年・学級懇談会・PTA 総会
8日(火) 入学式、部結成(2、3年生)	21日(月) 振替休業日
11日(金) 部活動紹介	28日(月) 生徒総会
14日(月) 学友区会、生徒議会、生徒会委員会	29日(火) 昭和の日
16日(水) 全国学力・学習状況調査(理・質問調査)	30日(水) 部結成(1年)
17日(木) 全国学力・学習状況調査(国・数)	